

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年12月15日(月)～令和7年12月21日(日)【令和7年第51週】の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

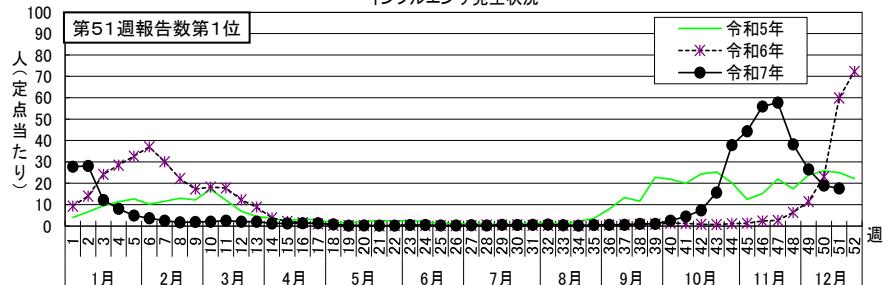
インフルエンザの定点当たり患者報告数は17.55人と前週(18.87人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.05人と前週(4.65人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.70人と前週(4.14人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況



海外旅行先でも感染症に注意しましょう！

年末年始を海外で過ごされる方も多いかと思いますが、海外では国内で通常みられない感染症が発生している場合もあります。地域によって感染症の流行状況は異なるため、事前に渡航先の状況を確認してから出かけましょう。

感染症は疾患によって病原体の種類が異なり、食べ物や水を介してうつるもの、動物からうつるもの、蚊やダニ等が媒介するものなど、病原体によって感染経路も異なります。さらに、感染経路によって必要な対策も異なるため、渡航前に予防対策を確認し、感染の可能性がある行動は避けましょう。

食べ物や水を介してうつる感染症

細菌性赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、A型肝炎、E型肝炎等

【予防対策】

- 手洗いなどの手指衛生をこまめに行う。
- 生水、氷、カットフルーツ等の喫食は避ける。
- 食事は十分に火の通ったものを食べる。



動物からうつる感染症

鳥インフルエンザ、狂犬病、中東呼吸器症候群(MERS)等



【予防対策】

- 動物にはむやみに手を出さず、近寄らない。
- 動物に触れた場合、手洗い等の手指衛生を心がける。



蚊やダニ等が媒介する感染症

デング熱、マラリア、ジカウイルス感染症、チクングニア熱等

【予防対策】

- 長袖や長ズボンを着用する。
- 虫よけ剤(ディート等の成分を含む)を使用する。
- 網戸等の設備が整った宿泊施設を利用する。



その他、海外で注意すべき感染症

麻しん、風しん、ポリオ、新型コロナウイルス感染症等



【予防対策】

- ワクチンを接種する。
- 何らかの症状がある方との濃厚接触を避ける。
- 必要に応じて、マスクを着用する。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況

